

水と油と高分子のスペシャリストとして社会の発展に貢献する

# 第2四半期業績の概要

(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

株式会社 **MORESCO**

**MORESCO Corporation**

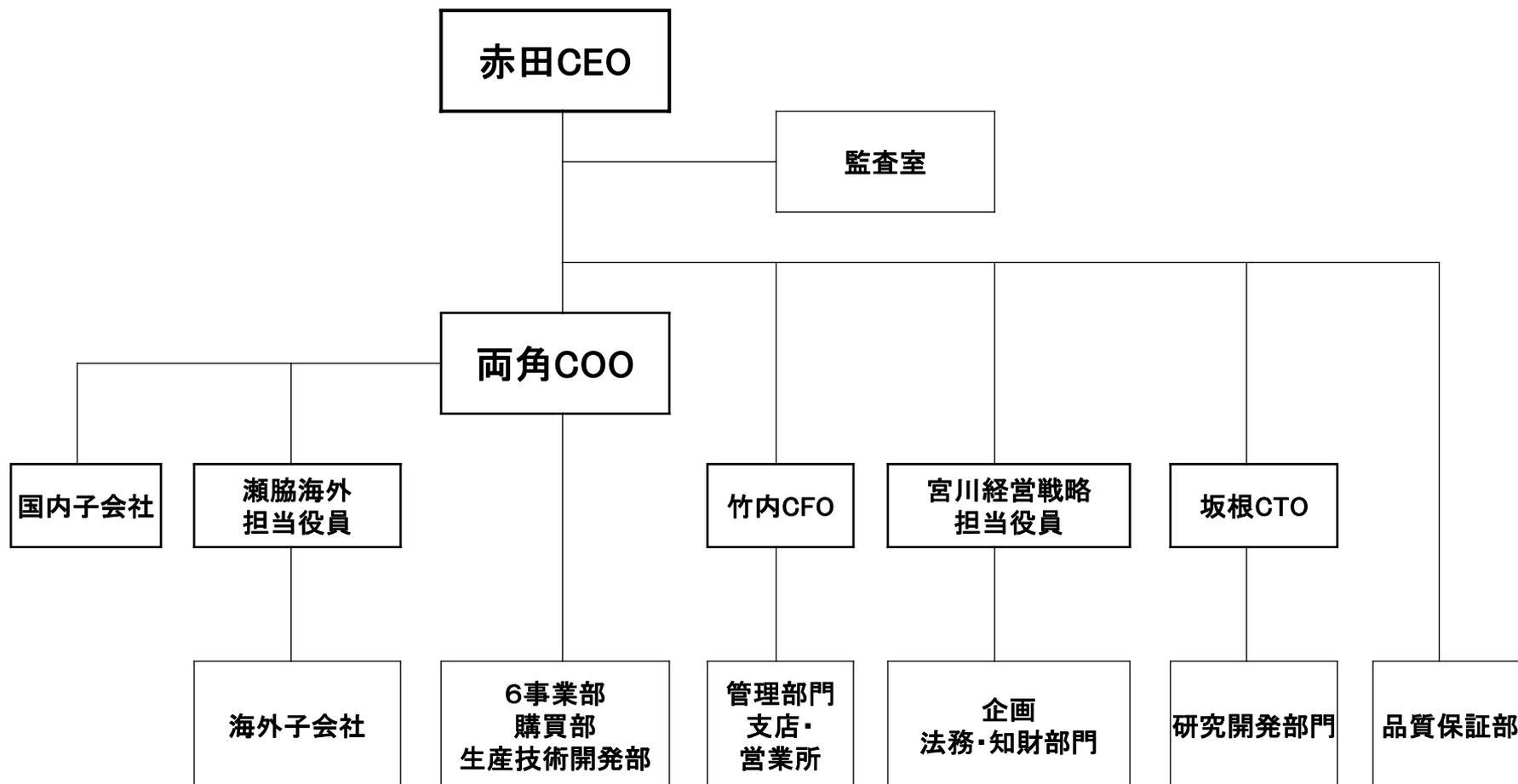
<http://www.moresco.co.jp/>

**東証一部 5018** (石油・石炭製品)

2018年10月

# 新経営体制

新・経営体制により、グローバル化への対応を強化します。  
また、担当役員制の導入により、権限の委譲とスピーディーな意思決定を実現します。

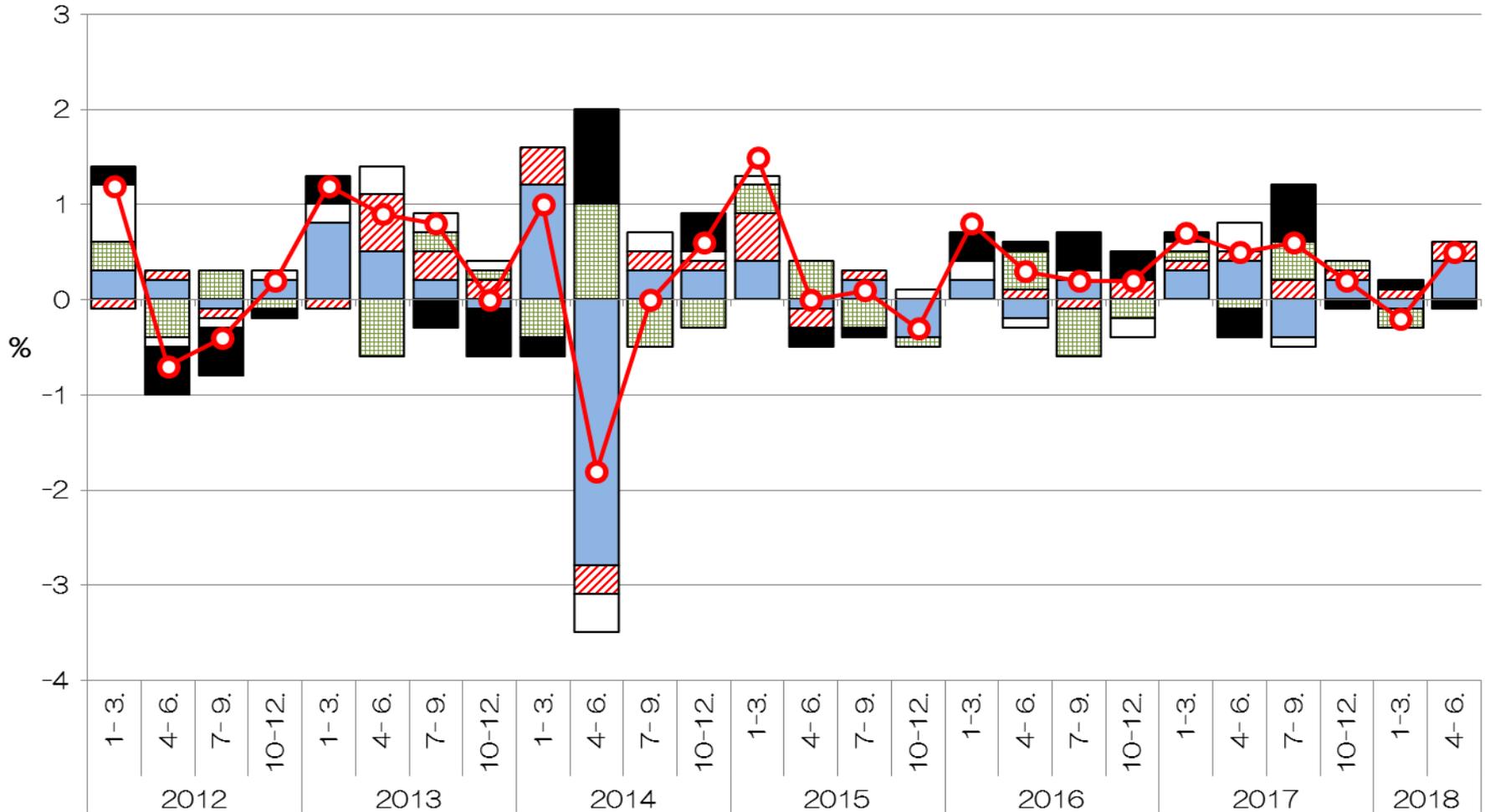


# 当期の経営環境(1)

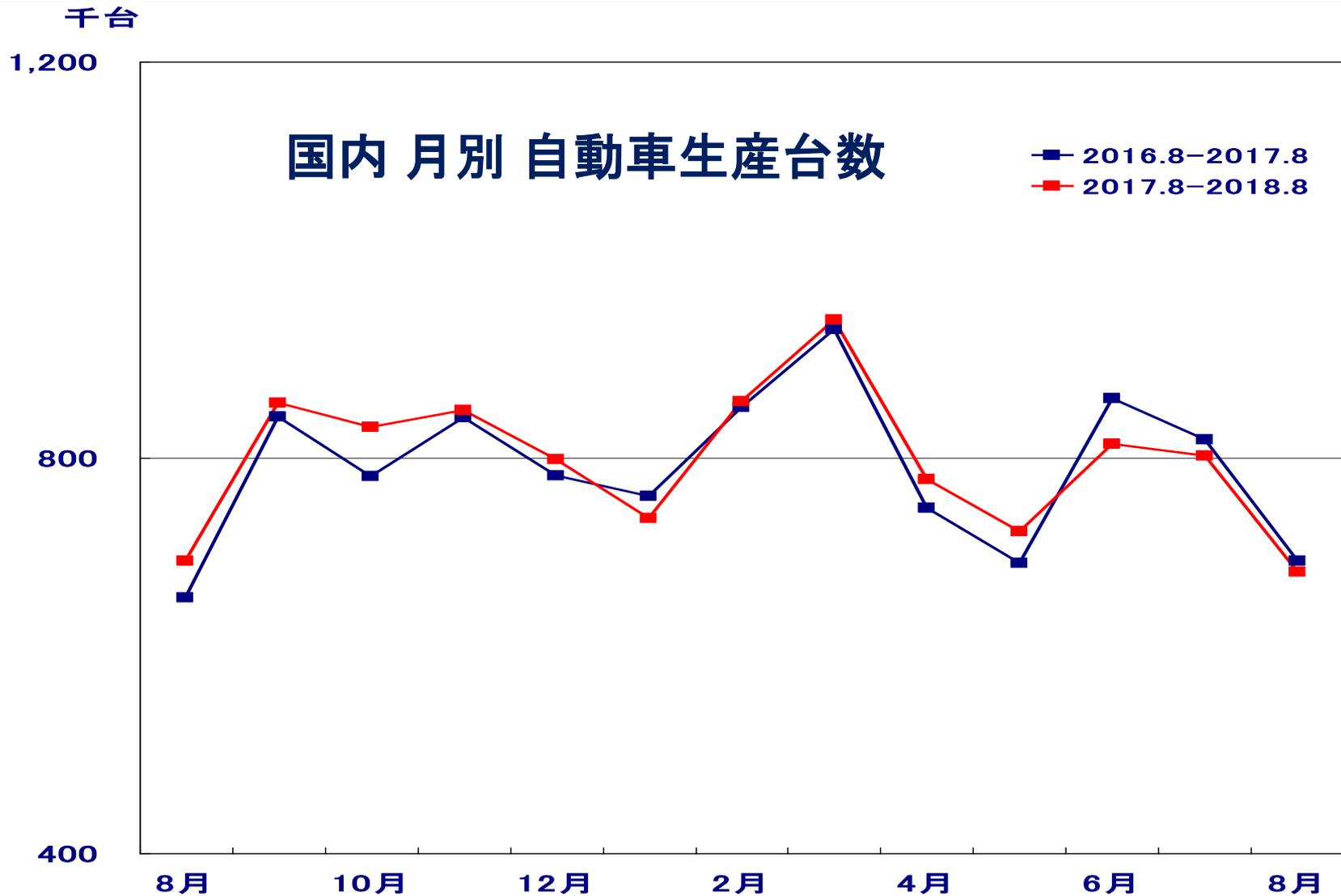
## 四半期別 実質GDP寄与度 推移

出展：内閣府

- 合計 / 家計（消費+住宅）
- ▨ 合計 / 民間設備投資
- ▤ 合計 / 民間在庫投資
- 合計 / 公的需要
- 合計 / 外需
- 合計 / 実質GDP成長率



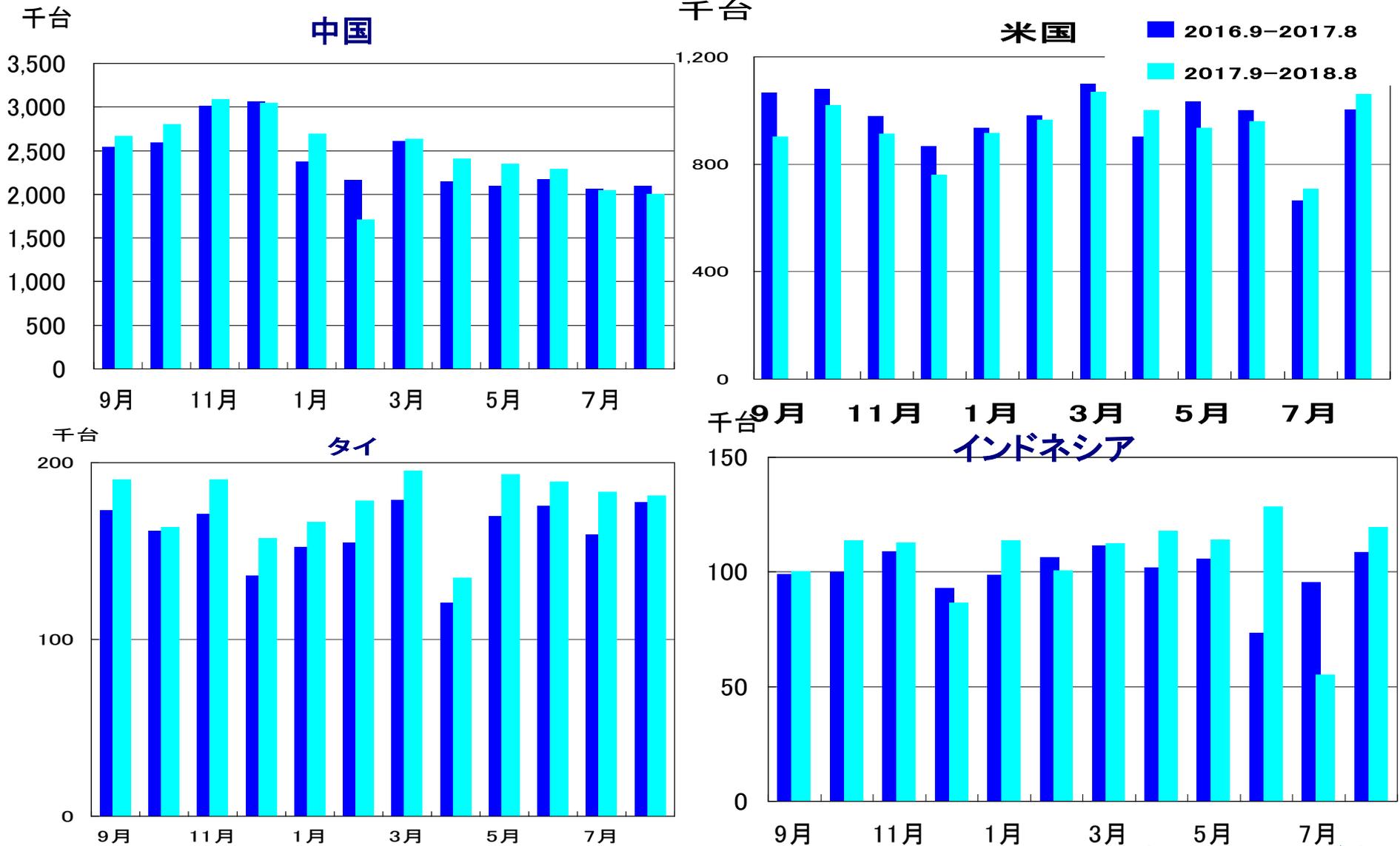
# 当期の経営環境(2)



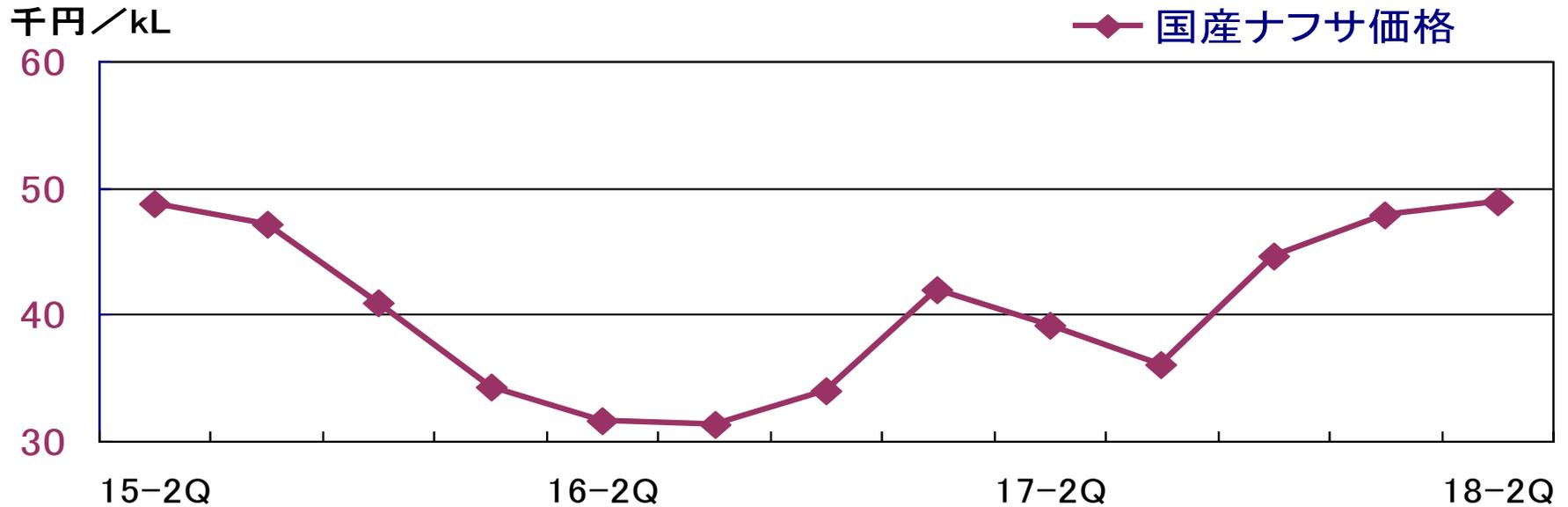
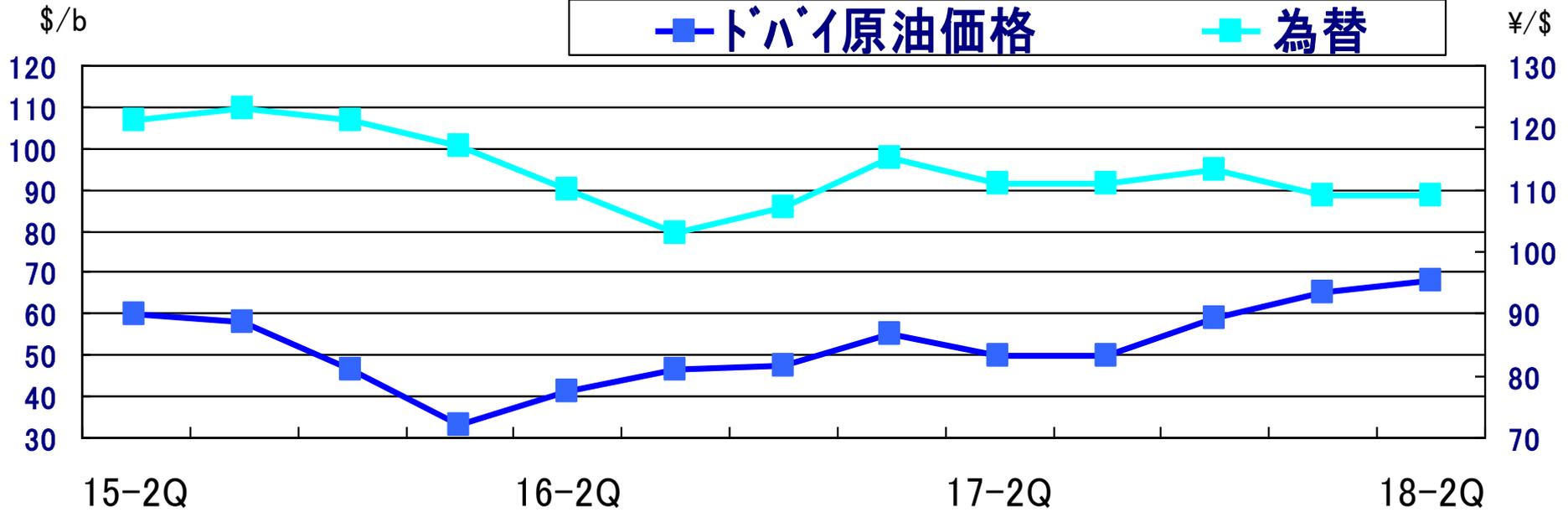
出典:自動車工業会  
2018.8マークライズ社

# 当期の経営環境(3)

## 海外自動車生産台数の推移



# 当期の経営環境(4)



# 決算概要 連結損益計算書

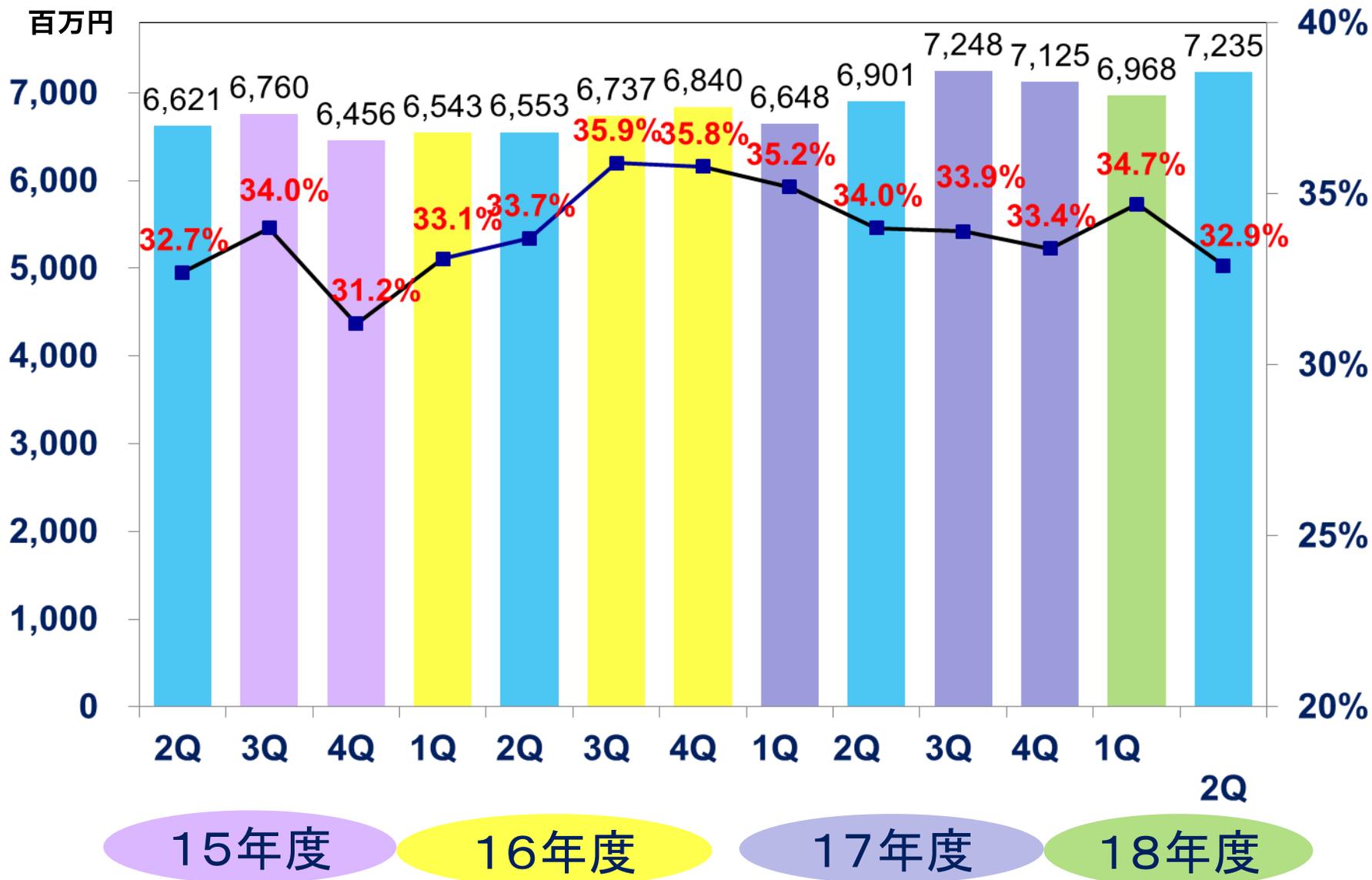
単位：百万円

科目	17年2Q 累計	18年2Q 累計	前年 同期比
売上高	13,549	14,203	+4.8%
売上総利益	4,685	4,799	+2.4%
販管費	3,594	3,640	+1.3%
営業利益	1,091	1,159	+6.2%
営業外損益	84	122	+46.1%
経常利益	1,175	1,281	+9.0%
四半期純利益(※)	681	788	+15.8%

(※)親会社株主に帰属する四半期純利益。以下同様。

# 売上高,売上高総利益率の推移

売上高 ■ 売上高総利益率



# 部門別売上高の内訳

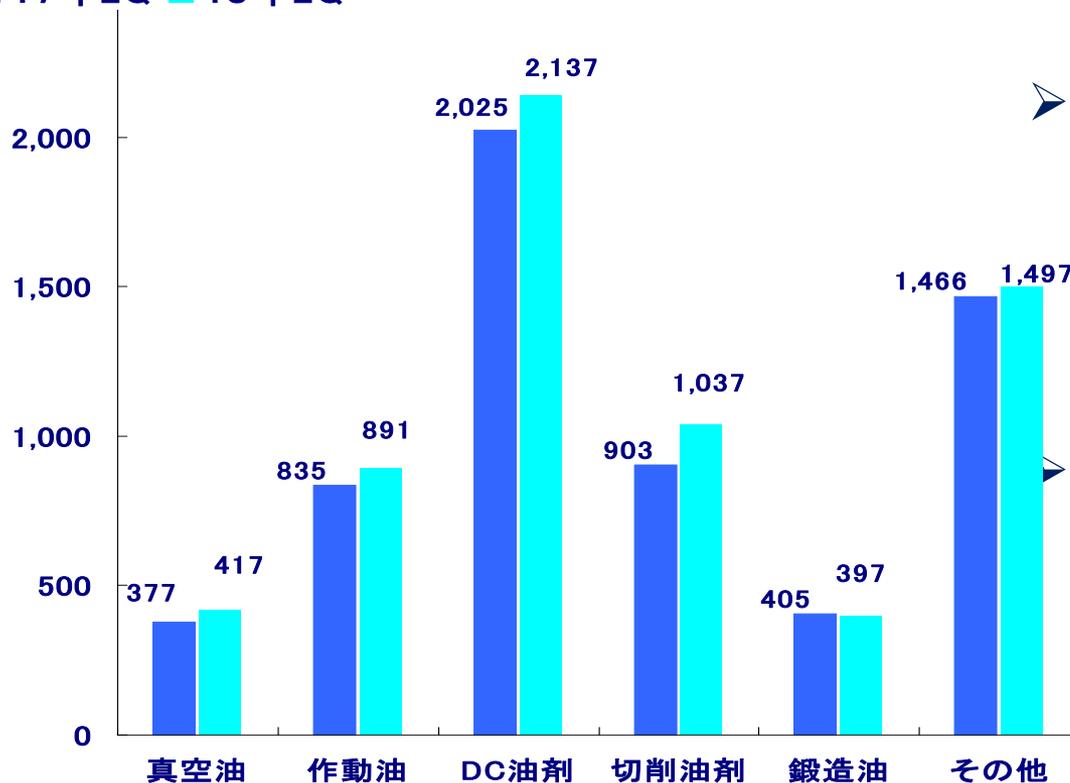
単位：百万円

	17年2Q	18年2Q	前年 同期比
特殊潤滑油部門	6,013	6,375	+6.0%
合成潤滑油部門	1,410	1,400	△0.7%
（うち、HD潤滑剤）	（785）	（737）	△6.1%
素材部門	1,729	1,948	+12.6%
ホットメルト接着剤部門	3,566	3,583	0.5%
その他	804	870	8.2%
化学品事業計	13,522	14,176	+4.8%
ビル事業	27	27	0.0%
売上高合計	13, 549	14,203	+4.8%

# 第2四半期の実績（特殊潤滑油部門）

◆部門全体の売上は前年比6.0%増（6,375百万円）  
数量は 7.5%増

■ 17年2Q ■ 18年2Q



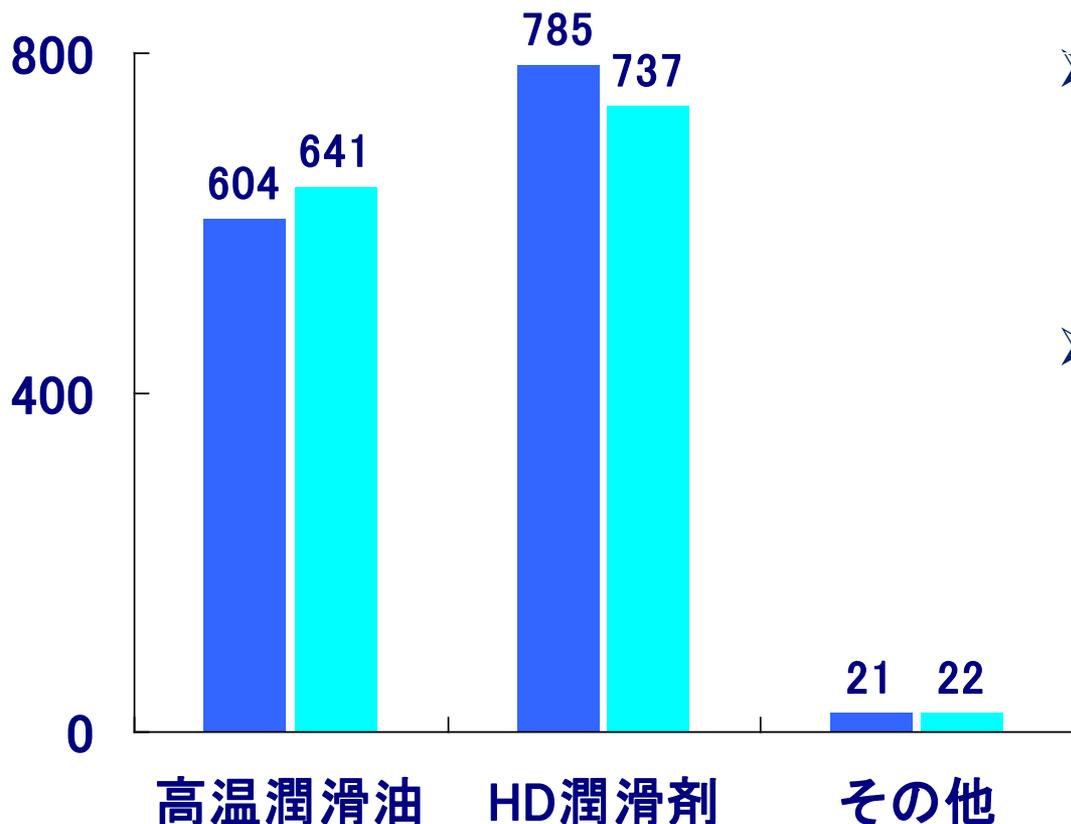
➤ ダイカスト用油剤、切削油剤、  
・堅調な自動車生産に支えられ、  
ダイカスト油剤での新製品投入、  
切削油剤での新規顧客獲得により売上高増加

➤ その他  
・LLCの輸出増等

# 第2四半期の実績（合成潤滑油部門）

◆部門全体の売上は前年比 0.7%減(1,400百万円)  
数量は 1.1%減

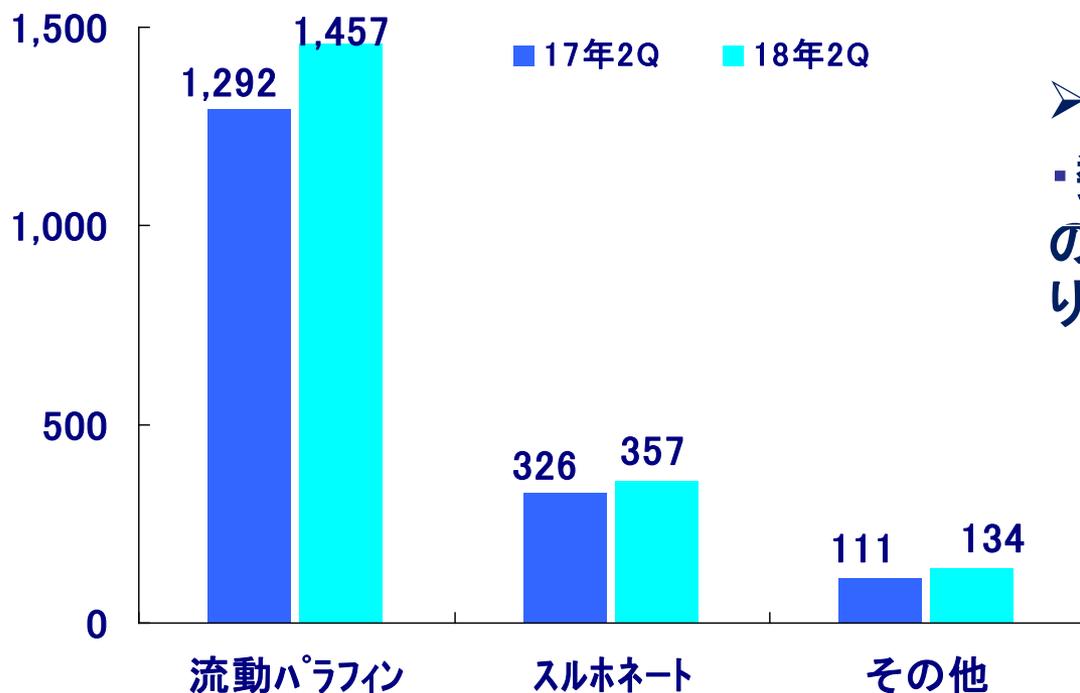
■ 17年2Q ■ 18年2Q



- 高温用潤滑油  
自動車向けグリース用途は顧客での輸出の回復等により前年を上回る
- ハードディスク表面潤滑剤  
・輸出は回復基調にあるも、国内向け出荷が減少

# 第2四半期の実績（素材部門）

◆部門全体の売上は前年比12.6%増(1,948百万円)  
数量は 8.2%増

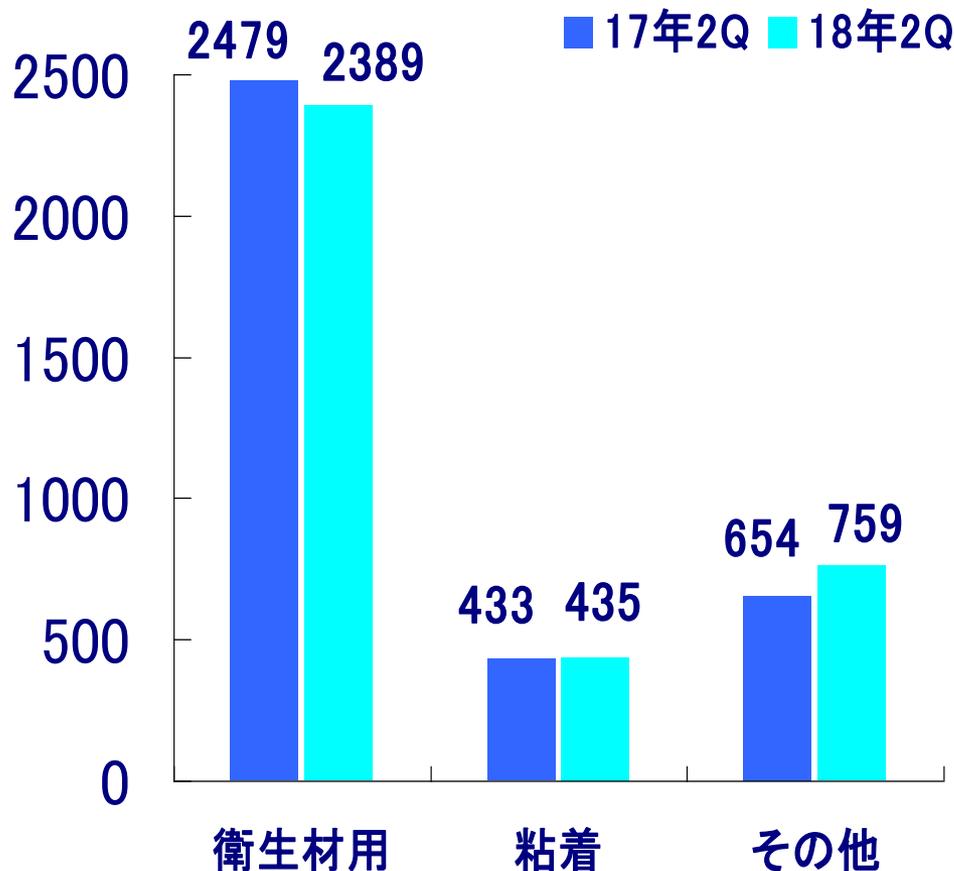


## ➤流動パラフィン

・数量はPS向け好調、原材料価格の上昇に伴う販売価格の改定により売上高も増加

# 第2四半期の実績（ホットルト接着剤部門）

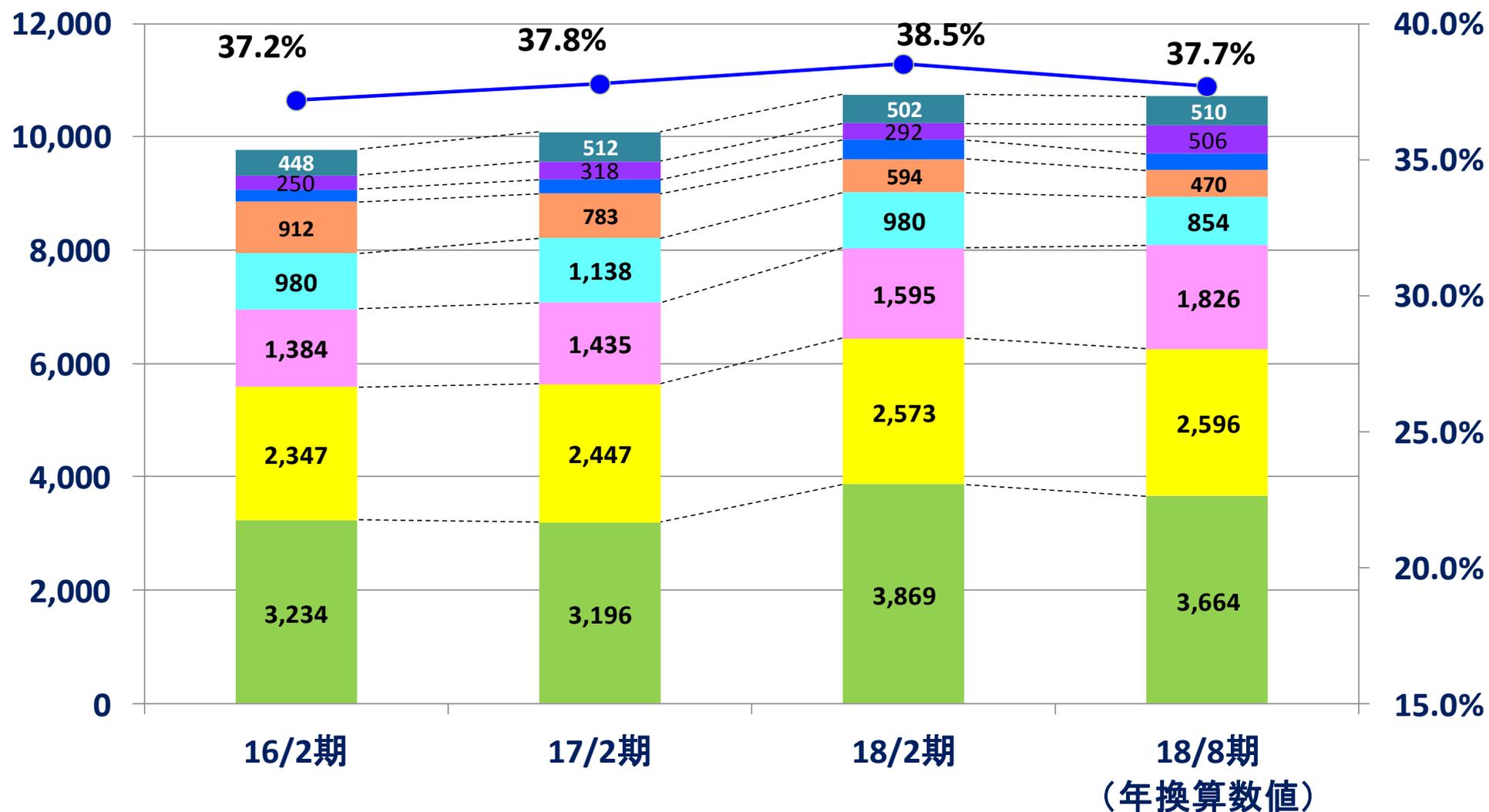
◆部門全体の売上は前年比0.5%増（3,583百万円）  
数量は 6.1%増



- 衛生材用途
  - ・国内伸び悩みにより売上高微減
- その他
  - ・中国で自動車向け、バスマット向けの売上高が増加

# 海外売上高(連結)

単位:百万円



■ 中国 
 ■ インドネシア 
 ■ タイ 
 ■ 北米 
 ■ シンガポール 
 ■ 台湾 
 ■ マレーシア 
 ■ その他 
 ● 海外売上高比率

# 決算概要 連結損益計算書

単位：百万円

科目	17年2Q 累計	18年2Q 累計	前年 同期比
売上高	13,549	14,203	+4.8%
売上総利益	4,685	4,799	+2.4%
販管費	3,594	3,640	+1.3%
営業利益	1,091	1,159	+6.2%
営業外損益	84	122	+46.1%
経常利益	1,175	1,281	+9.0%
四半期純利益(※)	681	788	+15.8%

(※)親会社株主に帰属する四半期純利益。以下同様。

# 決算概要 連結損益計算書

単位：百万円

科目	17年2Q 累計	18年2Q 累計	前年 同期比
売上高	13,549	14,203	+4.8%
売上総利益	4,685	4,799	+2.4%
販管費	3,594	3,640	+1.3%
営業利益	1,091	1,159	+6.2%
営業外損益	84	122	+46.1%
経常利益	1,175	1,281	+9.0%
四半期純利益(※)	681	788	+15.8%

(※)親会社株主に帰属する四半期純利益。以下同様。

# 販売費・一般管理費

単位:百万円

	17/2Q	18/2Q	増減	前期比
販売費・一般管理費	3,594	3,640	+46	+1.3%
うち、研究開発費	619	699	+80	+12.9%
売上高販管費比率	26.5%	25.6%		
売上高研究開発費比率	4.6%	4.9%		

## <経費の増減要因>

- ・人件費増
- ・システム関連費用減

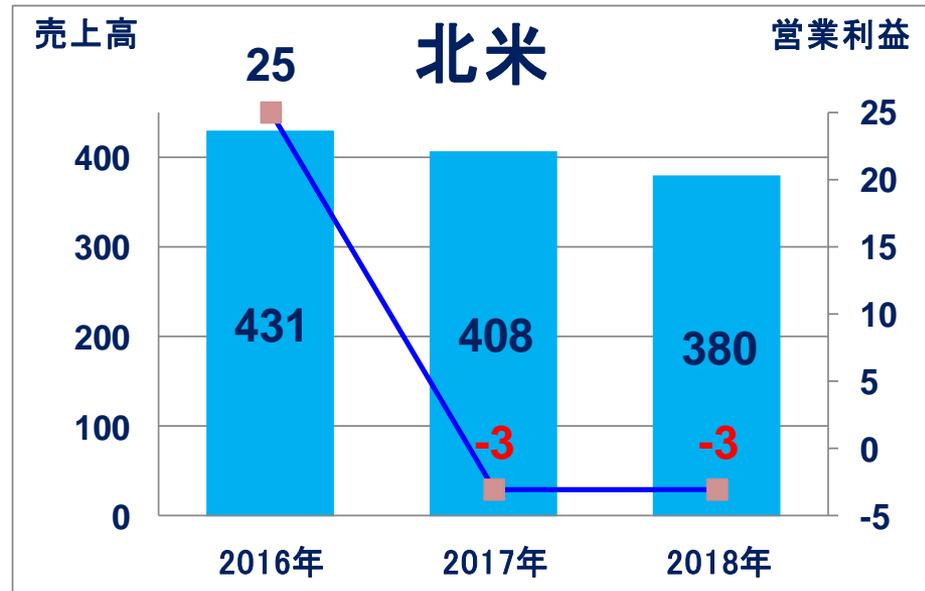
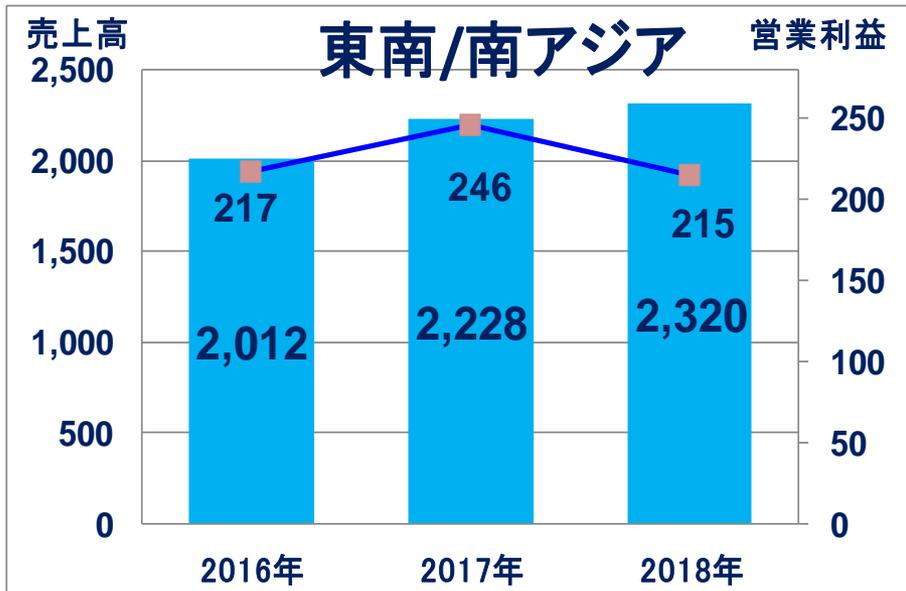
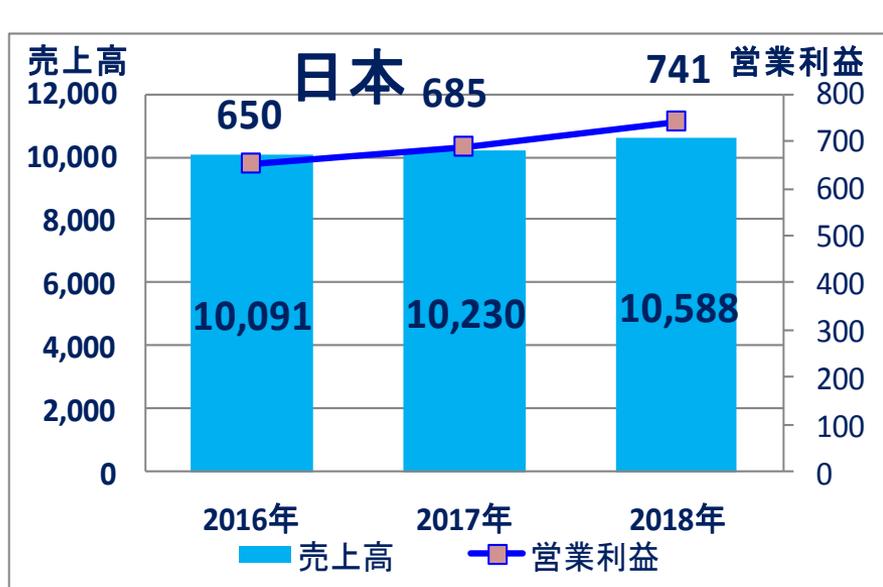
# 決算概要 連結損益計算書

単位：百万円

科目	17年2Q 累計	18年2Q 累計	前年 同期比
売上高	13,549	14,203	+4.8%
売上総利益	4,685	4,799	+2.4%
販管費	3,594	3,640	+1.3%
営業利益	1,091	1,159	+6.2%
営業外損益	84	122	+46.1%
経常利益	1,175	1,281	+9.0%
四半期純利益(※)	681	788	+15.8%

(※)親会社株主に帰属する四半期純利益。以下同様。

# 第2四半期地域別損益（連結）



# 貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

科目	当期末	増減	科目	当期末	増減
現預金	3,699	△16	仕入債務	4,241	2
売上債権	6,906	△105	有利子負債	3,449	351
棚卸資産	4,421	241	その他流動負債	1,598	△188
その他	435	87	その他固定負債	783	△12
流動資産計	15,460	207	負債合計	10,073	155
有形固定資産	8,272	245	資本金・資本剰余金	4,097	41
無形固定資産	1,401	△113	利益剰余金	11,294	546
投資その他	2,503	41	包括利益累計額	231	△293
固定資産計	12,176	172	非支配株主持分	1,942	△69
			純資産合計	17,564	225
資産合計	27,636	379	負債・資本合計	27,636	379

注)増減は、2018年2月末との比較

# 設備投資・減価償却費

単位:百万円

	17/2Q	18/2Q	増減
設備投資額 合計	399	818	+419
MORESCO	289	332	+43
連結子会社	110	486	+377

	17/2Q	18/2Q	増減
減価償却費	560	607	+47

## 主な設備投資

- ・研究開発設備
- ・切削油製造設備
- ・ホットメルト製造設備
- ・インド工場建設

# 有利子負債

単位:百万円

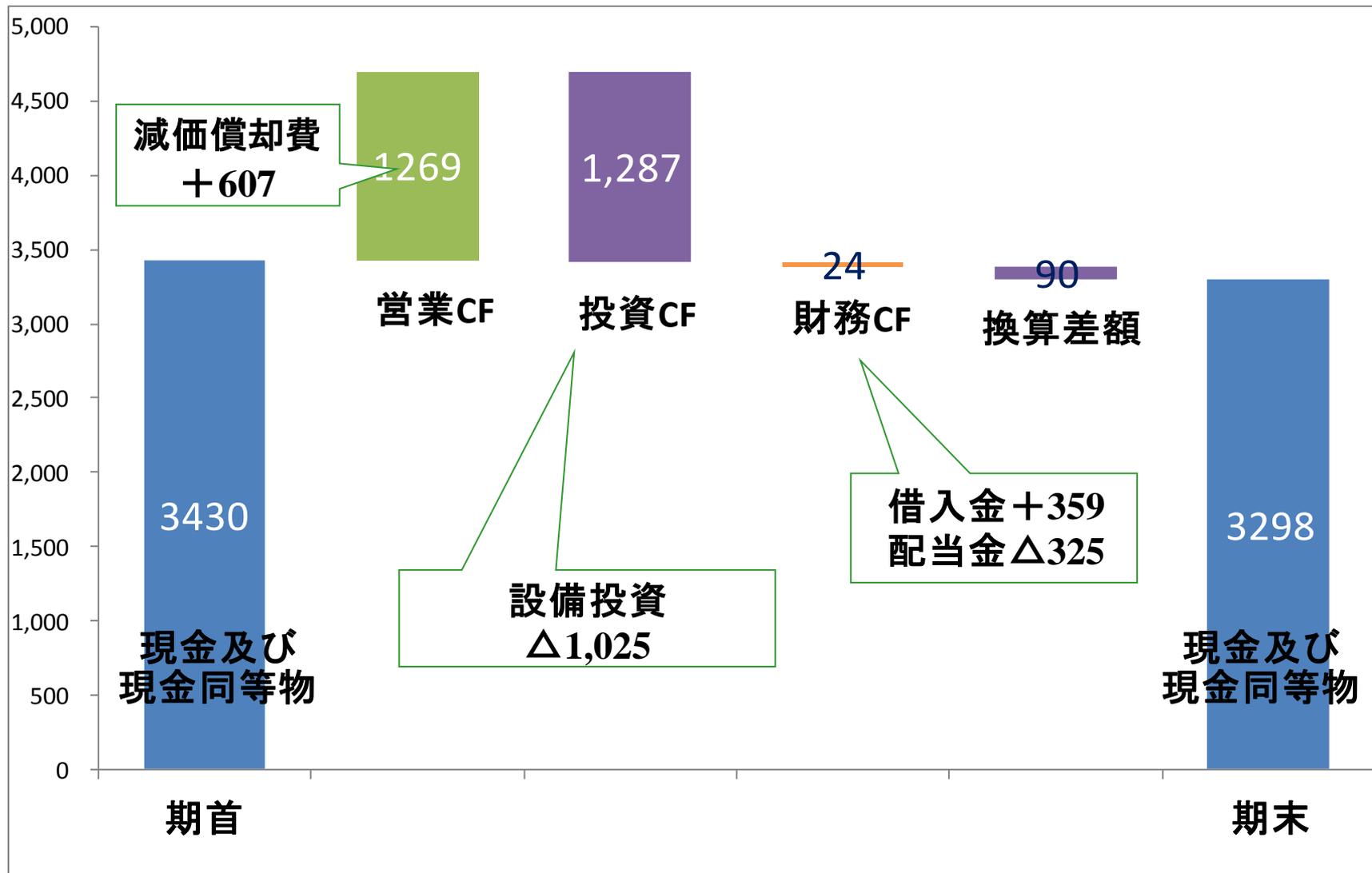
	18/2末	18/8末	増減
短期借入金※	1,769	2,411	+641
長期借入金	1,329	1,039	△290
合計	3,098	3,449	+351

有利子負債比率	11.4%	12.5%
---------	-------	-------

※ 1年以内返済予定の長期借入金を含む

# 連結キャッシュフロー

単位：百万円



# 決算概要 経営指標

	16/2Q	17/2Q	18/2Q
<b>1株当たり</b>			
四半期純利益	65.56円	70.37円	81.40円
自己資本比率	53.1%	56.2%	56.5%
売上高経常利益率	8.2%	8.7%	9.0%
(参考)株式数(期末)	9,668千株	9,676千株	9,697千株
株主数	13,309名	7,521名	10,257名

# 2018年度 連結業績予想

単位:百万円

	2017年 2Q	2017年度	2018年 2Q	2018年度 予想
売上高	13,549	27,922	14,203	30,000
営業利益	1,091	2,330	1,159	2,450
経常利益	1,175	2,600	1,281	2,750
当期純利益	681	1,623	788	1,700

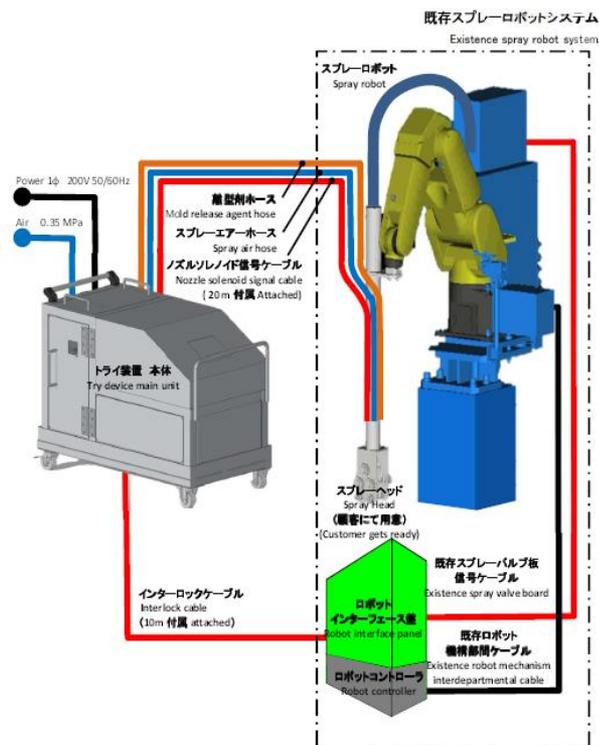
# 新製品・新分野

# ダイカスト離型剤を少量塗布する「水溶性原液MQシリーズ」

- 離型剤と装置で従来より100分の1に塗布量を削減し環境改善、生産性向上、コストダウンを実現



機械メーカーと協同し少量塗布に特化した装置を開発中



- 少量且つ安定した量の塗布可能
- 不具合を低減し、品質の向上が図れる

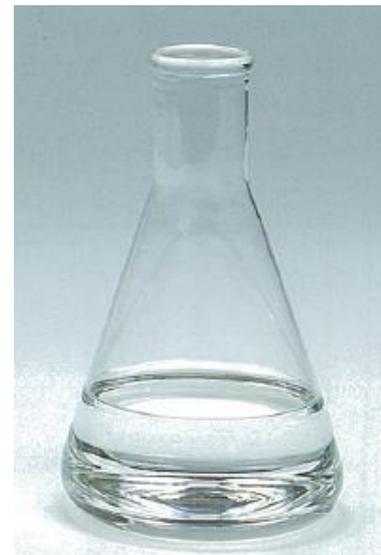
# 高引火点流動パラフィン

- 低分子量分が少なく高い引火点を持つ流動パラフィン
- 電気自動車・モバイル機器などのリチウムイオンバッテリー用途に拡大

- 消防法の危険物に該当せず、きわめて安全性が高い
- 高温環境下で使用しても油煙が発生しにくい
- 高引火点の流動パラフィンでありながら低い動粘度を実現

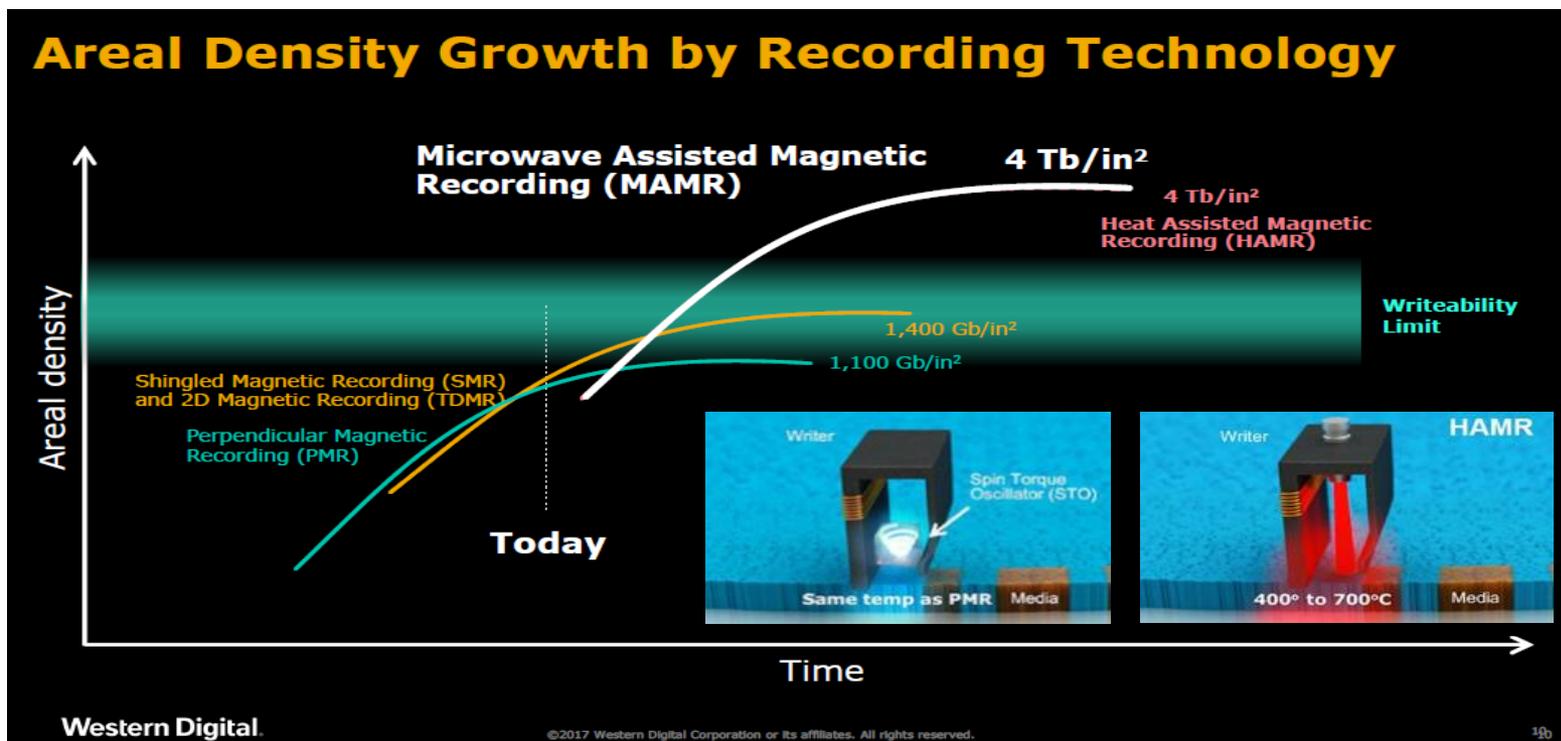
〈 用途 〉

化粧品、リチウムイオンバッテリー、化学、医薬品等



# 高性能ナノ薄膜潤滑剤

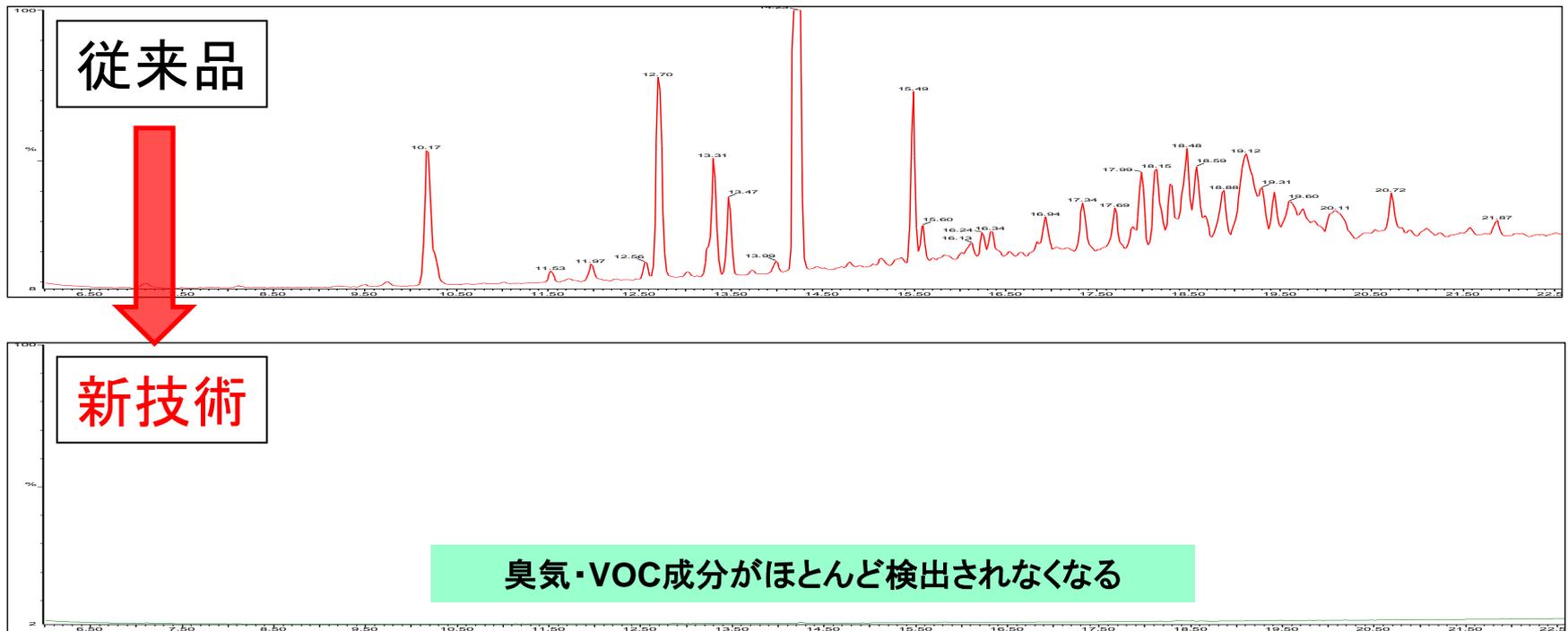
- ここ数年間、HDD台数は横ばいもしくはは微減するも、データセンター用途向けドライブ（ニアラインHDD）での搭載ディスク枚数の増加（5.5枚→7.5枚）により、2021年ごろから増加に転じるとの見方
- 当社は、ハイエンド製品（ニアラインHDD）で使用される高性能潤滑剤に加えて次世代磁気ディスク記録技術と期待されるエネルギーアシスト記録（MAMRおよびHAMR）をサポートするための次世代潤滑剤の開発に注力



注)ASTC,WDの資料をベースに当社作成

# 低臭気・低VOCホットメルト接着剤

- 自社独自技術／新設備により世界最高レベルの低VOC化を実現！
- 脱VOC／脱臭気化技術の開発  
⇒ モレスコオンリーワン技術により更なる低臭気化に貢献

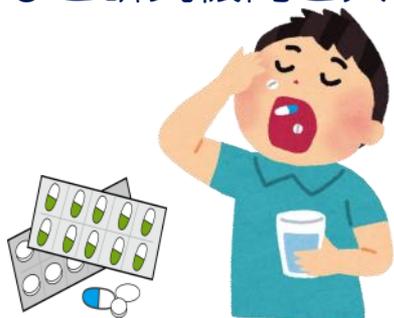


※臭気・VOC : 接着剤の「原料」生産工程で使用される有機溶媒や重合度の低い低分子量成分

# 新規研究開発分野 4プロジェクト

## メディカル材料プロジェクト

合成技術・精製技術を創薬支援へと展開するため、大学など研究機関と共に開発を進める



## 粉体離型剤プロジェクト

構造部材用離型剤



Fe → Al  
-198 kg

成人男性（日本）  
3人分

欧州の軽量化事例(Audi A8) 出典:audi.de

## バッテリープロジェクト



ウェアラブル

Charge!!



Battery



農業やインフラ、  
医療業界への  
応用が期待されている

## コーティングプロジェクト

ハードディスク表面潤滑剤は一種のコーティング剤



車両用コート剤

生活関連コート剤

ナノインプリント

# MORESCO HM&LUB INDIA PRIVATE LIMITED 設立(2017.2.23)

ホットメルト接着剤・潤滑油の生産・販売拠点として  
インド（アーメダバード）に建設中。  
2019年春に竣工予定



# 千葉工場 新事務所棟完成

千葉工場における研究開発体制をより強化



# CSRの取り組み

## ・環境にやさしい製品の開発



少量塗布型  
ダイカスト離型剤

白色系鍛造油

ホットメルトの  
低VOC化

廃水処理装置

## ・当社拠点のある3市に福祉車両を贈呈（2013年度～）



2018年2月神戸市(兵庫)



2018年3月赤穂市(兵庫)



2018年3月市原市(千葉)



本社・研究センター

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点における当社の判断に基づくものであり、今後、予告なしに変更することがあります。本資料記載の業績見通しや目標数値のみに全面的に依存して、投資判断を下すことによるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。なお、当資料を無断で複写複製、配布することを禁じます。

<http://www.moresco.co.jp/>